

令和元年 8 月

大野市教育委員会定例会
会議録

日 時：令和元年 8 月 26 日（月）午後 3 時 30 分～午後 4 時 55 分

場 所：大野市役所 大会議室

大野市教育委員会 8月定例会 次第

令和元年8月26日(月)

午後3時30分～ 大会議室

1 開会

会議録署名人 清水委員 麻生委員

2 7月定例教育委員会の会議録の承認について

3 教育長重要事項報告

4 議事

議案第34号 令和元年度大野市一般会計補正予算案について

5 付議事項

1) 9月の行事予定について

資料1

- ・9月定例教育委員会 9月26日(木) 午後3時30分～ 大会議室

6 その他

1) 8月の業務報告について

資料2

2) 指定学校変更許可について

3) その他

7 閉会

<出席者>

	教育長	久保俊岳
	職務代理者	洞口幸夫
	委員	清水美那子
	委員	關園子
	委員	麻生博之
事務局（説明者）	事務局長	清水啓司
	教育総務課長	横田晃弘
	学校教育審議監	千田佐
	生涯学習課長	中村吉孝
	生涯学習課長補佐	宮山玉緒
	文化財課長	佐々木伸治
	文化財課長補佐	林俊光
（書記）	教育総務課企画主査	竹田雄次

<傍聴者>

2人

【開会】

【教育長】ただいまから大野市 8 月定例教育委員会を開会する。

——<大野市教育理念の唱和>——

【会議録署名人】

【教育長】本日の会議録署名人は、清水委員、麻生委員に願います。

【7月定例教育委員会の会議録の承認について】

【教育長】次第に基づき会議に入る。7月定例教育委員会の会議録の承認について、事務局の説明をお願いします。

——<書記説明>——

【教育長】ご意見、ご質問等があれば願います。

——<意見・質問なし>——

【教育長】事務局の提案どおり承認してよろしいか。

——<異議なし>——

【教育長】7月定例教育委員会の会議録については、提案どおり承認する。

【教育長重要事項報告】

【教育長】教育環境に係る意見交換会について申し上げます。5月12日に開催した結の故郷教育シンポジウムを皮切りに、小中学校14カ所で意見交換会を開催した。8月5日には、教職員を対象とした意見交換会を学びの里「めいりん」で開催した。教育シンポジウムの参加者は150人、各学校の意見交換会の参加者の合計は163人、教職員を対象とした意見交換会の参加者は112人だった。8月下旬からは保育所に入り、未就学児を持つ保護者が大野の教育に何を求めているのかをお聞きしている。保育所の保護者は小さなお子さんをお持ちなので、小中学校の意見交換会で行っていった冒頭の説明を、私の子育て講演に振り替えて、子育てについて一緒に考える時間も持っている。また、終了時刻を午後9時から午後8時30分に早め、開催時間を短縮するなど工夫を加えながら進めている。ある保育所では、保育士と一緒に大勢の保護者に参加いただき、ホールいっぱいの合計30人で開催することができた。率直な意見を多

くお聞きすることができ、いよいよ第2段階に入ってきたという印象を強くしている。引き続き丁寧に進めていきたいと思っている。

教育委員会たよりをお目通しいただいている中で、委員の皆さんの意見をお聞かせ願いたい。

【**關委員**】まちなかの方から「私たちには関係ない。」という話をお聞きした。以前からそのように感じてはいたが、実際に保護者の言葉としてお聞きし、小中学校の意見交換会の参加者が少なかった理由を実感した。「村部の人は大変だろうが、私たちはどこに変わっても行ける範囲だから。」というようなことだった。村部でも保護者に話を聞くと「意見交換会があったのですか」と言う方もおり、学校再編に関心があっても、優先順位は高くないのだと感じた。和泉小中学校の意見交換会で「和泉地区にウィンタースポーツと英語に特化した学校をつくれれば市街地から通学したいという子がいると思う」という意見があった。個人的な考えだが、村部に一つ学校を建設するということになれば、もっと関心が高まるのではないかと思う。

【**清水委員**】教員対象の意見交換会で教育長の印象に残ったことはあるか。

【**教育長**】とても多くの教職員に参加してもらえた。15グループで議論してもらったが、あらためて、それぞれ思いは違うと感じた。学校のこと、子どものことを優先に考えながら、地域のこと、大野市全体のこともしっかり考えてくれていると感じた。

【**清水委員**】保育所は今から回るのか。

【**教育長**】1カ所は終わった。その他はこれから回る。

【**清水委員**】小さい子がいる保護者にとっては、これからの自分たちに大きく関わることなので、1人でも多くの人に参加してもらいたいと思う。周知に力を入れてもらいたい。

【**教育長**】小中学校を回っている間にも、資料や進め方について改善を重ねた。保育所の意見交換会については、未就学児の保護者が対象なので、最初の30分は私が子育て講演を行い、その後、1時間で意見交換を行っている。未就学児の保護者は、家族に協力してもらい、小さい子を家において出てこられるので、それでも行ってみようと思う魅力が必要であり、かつ、コンパクトにまとめる必要があると考えている。開催に当たっては、保育所が大変協力的であり感謝している。今後なるべく保護者が参加しやすい環境を整えてしっかり話を聞いていきたい。

【**麻生委員**】ふるさと芸能発表会でもあったように、技術の継承には非常に手間が掛かる。合理化を優先すると、得てして技術の継承をする地区の方の技量がなくなってしまう。学校再編に関しても、話をするだけで地区の教育力が上がると思う。経済的な部分も大切かもしれないが、今の状況を何とか維持していけないかというように考えが変わってきたように思う。

【**洞口委員**】まちを歩いていると「学校再編はどうなっているのか。」と問いかけ

られることがよくあり、私は「学校や地区を回って意見を聴取している段階である。」と答えている。これまでに出示された意見には様々なものがあり、これをいつの時点でどのように取りまとめるかということが、これからの課題となる。どのような視点でまとめれば良いか非常に難しい。事務局に案を出してもらい教育委員会の会議で練っていかねばいけない。県内の他市町でも学校再編に向けた取り組みが始まっており、大野市がどのようにまとめるかが注目されている。教育委員は心して取り組んでいかねばと思っている。

【教育長】掛ねなければならぬ時間はしっかり掛ねたいと思うが、ご指摘のように、いずれ何らかの形で示していかねばならない。そのために、どのような手法を取るのかということも課題になってきている。

私は40カ所の意見交換会を健康で全て回りたいと思っている。40カ所を回って話し合いをする中で、必ず見えてくるものがある。そして、40カ所回ってしっかり意見を聞いたという自信を持って対応していきたい。

意見交換会の後に、何人かの保護者から「今日は来て良かった。駐車場に車が少なく会場に入ろうか迷ったが勇気を出して入って良かった。いっぱい話も聞けたし言うことも言えた。今日参加しなかった友人にもこの気持ちを伝えたい。」と言ってもらえた。参加者みんなで考えられているという実感がある。今後もしっかり対応していきたい。

【議事】

【教育長】議案第34号については、市の補正予算に関することであり、大野市情報公開条例第7条第5号に該当するので、本日の審議は非公開とし、会議録と資料は後日公表する。

【付議事項】

【教育長】1) 9月の行事予定について、事務局の説明をお願いします。

——<各課長・課長補佐説明>——

【教育長】ご意見、ご質問等があればお願いします。

——<意見・質問なし>——

【教育長】9月の行事予定については以上とする。

【その他】

【教育長】 1) 8月の業務報告について、事務局の説明をお願いします。

——<各課長・課長補佐説明>——

【教育長】 ご意見、ご質問等があればお願いします。

【洞口委員】 社会教育委員の会議が本日午後7時から開催される。同じような時間帯に同じような行事がある。このようなことは避けるのが賢明だと思う。

【事務局長】 以後、注意する。

【清水委員】 中学生みこし・ダンスパフォーマンスが、今年から8月14日から13日に変更になり、開始時刻も9時5分からとなり、会場もめいりんグラウンドに変更になった。観客が集まるか心配していたが、大勢の方に見に来てただけだ。時間が経つにつれて気温も上がったので、早めに開始して良かったと思う。ふるさと芸能発表会も最初は観客がまばらだったが、発表が始まる頃には会場いっぱいになり、冷房が効いていて見やすくて良かったと思う。

【關委員】 みこし・ダンスパフォーマンスが終わった後に、ふるさと芸能発表会への誘導があると良かった。

【教育総務課長】 来年度実施する場合には、城まつり実行委員会と連携を取って案内したい。

【關委員】 みこし・ダンスパフォーマンスを見ているときに、周りにいた人が、「ワッショイの掛け声が小さいのは照れ臭いからかもしれないが、みこしやダンスで何を伝えたいのか分からない。」と話していた。子どもや教員もどう思っているのかと思ったので、来年度も実施する場合は、そういったことも伝わりと良いと思う。

【審議監】 ワッショイの掛け声や「お手を拝借」には、中学生の熱い思いを伝えたいという意図がある。昨年度までの会場と比べると観客と子どもたちに距離があり、威勢の良さが伝わりにくかったと思われる。逆に、会場が変わったことで全体の動きが良く見えて良かったという声も聞かれた。我々としては、暑さ対策を第一に考えて実施した。来年度については、子どもや保護者、教員のアンケート結果も参考に検討していきたいと思う。

【教育長】 城まつりを盛り上げるという側面もあるが、子どもたちに、ふるさと大野について考えてもらおうというのが、この行事の趣旨であり、みこし・ダンスパフォーマンスは、ふるさと学習の一環である。昨年度の中学生のアンケート結果では、約4割が楽しかったと回答しており、まあまあ楽しかったを含めると約8割が肯定的に捉えている。また、大野を考える機会になったかという問いには、まあまあ考える機会になったを含めると、約7割が考える機会になったと回答している。暑さやみこしの重さも考え合わせ、他の行事等も勘案し、今後どうしていくかを検討する。

【教育長】 8月の業務報告については以上とする。

次の内容については、個人情報が含まれており、大野市情報公開条例第7条第2号に該当するため傍聴者の退出をお願いします。

――<傍聴者退室>――

2) 指定学校変更許可について、事務局の説明をお願いします。

――<審議監説明>――

【教育長】ご意見、ご質問等があればお願いします。

――<意見・質問なし>――

【教育長】指定学校変更許可については以上とする。

【議事】

【教育長】議案第34号 令和元年度大野市一般会計補正予算案について、事務局の説明をお願いします。

――<事務局長説明>――

【教育長】ご意見、ご質問等があればお願いします。

【清水委員】食育推進事業については、通常の給食とは違うものを食べるのか。

【教育総務課長】市内の料理人を講師に迎え、授業の中で実際に調理をして、味覚の五味（甘味・塩味・酸味・苦味・うま味）を学んだり、料理の盛り付けを学んだりする。

【關委員】乾側小学校には現在何人の児童がいるのか。

【事務局長】16人の児童がいる。

【關委員】学校耐震対策のスケジュールが令和3年までまたいでいるが、その間に卒業していく児童もいる。今年度入学予定だった児童3人か4人の内、実際に入学したのは1人だったと思う。

【事務局長】乾側小学校の体育館は耐震強度を持っているので、卒業式や入学式は乾側小学校で実施すると良いと考えている。練習等は旧蕨生小学校の体育館を活用しながら、本番は乾側小学校でと考えている。

【關委員】すべての保護者ではないが、「早く大きい学校へ行ったらたくさんの子どもと一緒に学ばせたい。」という声を聞いたことがある。そういった保護者にとっては、自分の子どもが高学年だと、この話は苦しいと感じるだろう。

【清水委員】現在の校舎を解体して新校舎を建てるか、解体せずに新校舎を建てるかは、まだ決まっていないということか。

【事務局長】事務局としては、子どもたちが旧蕨生小学校で過ごす期間のことを考えると、グラウンドに新校舎を建てて来年9月、10月から新校舎で授業を受けさせたいと考えているが、地元の方からは、玄関からの渡り廊下が長くなったり、体育館に行ってもまた戻るといようなことになるのと、自分たちの学校の姿に愛着を持たせるために、現在の校舎の位置に建てると良いのではないかという意見をいただいている。旧蕨生小学校で過ごす期間が長くなっても現在の校舎の位置に建てた方が良いということで、地元の方が納得するのであれ

ば、事務局としてはそれでも良いと考えている。

【洞口委員】新校舎が完成するまでの期間、旧蕨生小学校に通学することについては、保護者の了解は得ているということでしょうか。

【事務局長】了解を得た時の説明会では、9月補正で新校舎の建設費を予算要求して、今年12月から来年3月までを旧蕨生小学校で過ごしてもらおうという説明をした。しかし、耐震に関する意見がまとまらなかったため、9月補正に新校舎の建設費を計上していない。そのため、新校舎の完成時期が来年度に食い込んでいる。このことについては、これから乾側地区や保護者に説明しなければならない。

【清水委員】乾側地区の中でも意見がまとまっていないということか。

【事務局長】そうである。

【關委員】どういった方が何人説明を聞きに来たのか。

【事務局長】最初に乾側地区区長会に説明した。次に7月23日の教育環境に係る意見交換会の場で、乾側小学校の保護者6人に説明した。次に未就学児童の保護者も含めて保護者18人に説明した。その後、地区全体を対象として住民13人に説明した。

【教育長】9月補正で新校舎の建設費も予算要求し、この冬期間だけを旧蕨生小学校で過ごしてもらい、その間に新校舎を建てたいと考えていたが、なかなか理解が得られなかった。現在の校舎の全棟耐震を希望する方もいた。

【關委員】教室に耐震壁ができるというイメージ写真を見ても耐震補強を希望されたのか。

【事務局長】意見としては、構造壁を少なくして耐震補強ができないのかという意見もあった。しかし、その検討をするには設計のやり直しが必要であり、検討した結果、やはり構造壁が必要ということになれば、ただ期間を延ばすだけになってしまう。

【關委員】来年度、再来年度の入学予定児童数は何人いるのか。

【審議監】住民登録がある人数としては、来年度5人、再来年度5人、令和4年度5人である。

【清水委員】その中で、下庄小学校や有終西小学校に入学する子が出てくるかもしれない。

【麻生委員】コンセンサスを得るには、順番に積み上げていかないと大変だと思う。

【關委員】誠意を持って説明すれば、理解してくれる人が少しずつ増えると思う。

【教育長】事務局の提案どおり承認してよろしいか。

——<異議なし>——

【教育長】議案第34号については、提案どおり承認する。

【その他】

【教育長】 その他、何かあればお願いします。

【審議監】 平成31年度全国学校体育研究優良校として、有終西小学校が選ばれて表彰を受けることになったのでお知らせする。

【關委員】 市外の中学校に進学する児童は多いのか。

【審議監】 高志中学校は受験で入学できるので、大野市の児童も受験している。合格者は1、2人程度である。スポーツ推薦で私立中学校に進学する児童もいるが人数は多くない。

【關委員】 以前、市外の有名な私立中学校に進学する児童が多くいるという話を聞いた。なぜその学校に通わせたいかというところ、勉強だけではなく、人間としての育成に魅力があるとのことだった。学校再編で、普通の中学校ではなく圧倒的に何かが凄くと思えるような中学校ができると、そういう人も大野から出ていきたいと思わずに市内に残るのではないかと思う。

【洞口委員】 小中の9年間は、義務教育であるということを念頭に置く必要がある。学習指導要領の基準は崩せない。その兼ね合いを考えながら、どのように特色を出していくかということになる。

【教育長】 今年度の高志中学校や私立中学校への進学者数を調べ、次回の定例会で報告する。

【閉会】

【教育長】 これをもって、大野市教育委員会8月定例会を閉会する。

午後4時55分終了

令和元年9月26日

(清水委員)

(麻生委員)